



平成 28 年 8 月 5 日

各 位

会 社 名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング
 代表者名 代表取締役社長 塚田 正之
 (コード：2418 東証第 1 部)
 問合せ先 取締役人事部長兼総務部長 丸山 健一
 (TEL. 03-5464-0081)
 (URL <http://www.tsukada-global.holdings>)

第 2 四半期連結業績予想および通期連結業績予想の修正ならびに 営業外費用（為替差損等）の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 28 年 2 月 12 日に公表した平成 28 年 12 月期の第 2 四半期連結業績予想および通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

また、平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間（平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 6 月 30 日まで）における営業外費用（為替差損等）の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	27,400	1,720	1,770	1,000	20 円 48 銭
今回修正予想 (B)	25,910	350	△270	△390	△8 円 01 銭
増減額 (B) - (A)	△1,490	△1,370	△2,040	△1,390	—
増減率 (%)	△5.4	△79.7	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期第 2 四半期実績)	24,719	1,567	1,610	997	20 円 42 銭

2. 平成 28 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想 (A)	59,500	6,200	6,250	4,100	83 円 97 銭
今回修正予想 (B)	56,800	4,300	3,700	2,200	45 円 18 銭
増減額 (B) - (A)	△2,700	△1,900	△2,550	△1,900	—
増減率 (%)	△4.5	△30.6	△40.8	△46.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	53,804	5,392	5,431	3,880	79 円 48 銭

3. 修正の理由について

第2四半期累計期間における、連結売上高は、婚礼事業における施行単価の低下により、予想を下回る見込みとなりました。連結営業利益につきましては、婚礼事業における減収の影響とハワイにおける新規事業にかかるコスト増等が影響し、予想を下回る見込みとなりました。加えて、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、急激な円高の進行による為替差損、並びにデリバティブ評価損が発生する見込みとなりました。

また、第2四半期累計期間までの業績、並びに第3四半期・第4四半期の業績見込みを勘案した結果、通期の連結業績予想を修正するものであります。連結売上高につきましては、新規開業のホテルが増収に大きく寄与しておりますが、婚礼事業における施行件数の減少等により、予想を下回る見込みとなりました。連結営業利益につきましては、婚礼施行件数・同単価の減少に加え、将来の成長に向けた積極的な新規事業展開にかかるコストの増加等が影響し、予想を下回る見込みとなりました。加えて、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、急激な円高による為替差損が発生する等の影響を受ける見込みとなりました。

4. 営業外費用（為替差損等）の計上について

当第2四半期連結累計期間におきまして、急激な円高の進行により、子会社米ドル建て貸付金の評価替等による為替差損539百万円、デリバティブ評価損256百万円を営業外費用に計上する見込みとなりました。

以上

※上記の業績予想は、発表日現在における入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、実際の業績と異なる場合がありますのでご了承ください。